総務部　厚生・保険課

千葉県ヤクルトの健康経営「戦略マップ」2023

解決すべき経営上の課題
＜従事者（社員）の健康意識啓蒙＞

健康の３要素である
「適度な運動」
「バランスのとれた栄養・食生活」
「休養・睡眠」
を意識した生活を心がけ、就労時間中のパフォーマンスを高める

定期的な健診と健診結果の活用により、疾病予防や心の健康対策を推進する

自らが健康になり、顧客に対する健康訴求ができるように、ヘルスリテラシーを高める

健康経営における重点施策

- 定期健康診断および特定健診・特定保健指導
- メンタルヘルス総合対策
- 禁煙対策
- 感染症対策
- 働き方改革
- 健康知識の向上・実践（ヘルスリテラシー）

従事者教育

- 健康経営推進担当（厚生・保険課）による働きかけ
- 産業医による指導
- 外部EAP（臨床心理士等心理専門職）による研修や心のケア
- 喫煙による影響に関する情報提供
- 新型コロナおよびその他の感染症に関する情報提供
- 労働に関する法令に伴う研修会
- 健康研修会の実施（外部講師）
- 「健康経営だより」作成および配付・ポスター掲示による情報提供
- 菌の科学性訴求

健康経営の仕組み

【健康課題の把握と対策】
・医療機関への受診勧奨
・ストレスチェック実施、分析
・メンタルヘルス対策
　-メンタル対応窓口
　-メンタル不調による休みから復職までの業務フロー
　-第三者による相談窓口設置
・オンライン禁煙外来（健保）
・感染症
　-新型コロナ-新しい生活様式
　-その他感染症
　（インフル、麻疹、HPV等）
・健康経営アンケート
・スマホアプリPep Upの導入

【法改正への対応】
・育児、介護休業
・働き方改革関連法　など

【その他疾病対策・予防】
・ヤクルト健康21の実施（健保）
・ラジオ体操
・ヘルスケア助成金
・ヤクルト400、Yakult1000家族助成

【健康経営を支える組織作り】
・衛生委員会の運営
・みんなの健康応援隊による支社ごとの支援

サプライチェーン対象健康教室
（取引先従業員への健康情報提供）

具体的な行動指標（KPI）
※「現状」は2021年結果

- 定期健康診断および特定健診・特定保健指導（100％維持）
- 健康診断の要精密検査者再検査受診率（現状53.0％→目標80％）
- ストレスチェックによる高ストレス者率（現状16.2％→目標10.0％）
- 喫煙率（現状25.6％→目標15.0％）
- 敷地内・就業時間内禁煙（100％維持）
- 長時間労働発生の抑制（目標45ｈ以上0人）
- 年次有給休暇取得率（現状62.2％→目標80％）
- 睡眠により十分な休養が取れている人の割合（現状53.2％→目標80％）

（参考）R1「国民健康・栄養調査」結果による喫煙率
16.7％（男性27.1％、女性7.6％）

期待する効果

- 労働生産性向上
- 疾病や心の健康（メンタルヘルス）による休職を防ぐ

企業理念の実現

＜中期計画2024目標達成＞
売上高　24,000百万円
乳本数　660,000本/日
　　人口比10.9％
営業利益　1,412百万円

社員の幸せ＋ありがとうの笑顔あふれる地域社会づくり